ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行２０２５年５月１日

５月　２７９号

奈良・人と自然の会

＜シイタケの収穫作業に参加しました（沢山採れました）　＞

Contents

ホームページではカラーで見ることができます

URL http://www.naranature.com

ならやまプロジェクト	1	旅の記憶	8
Monthly Repo　ならやま	2	きょうみ森森	9
里山の今（パトロール、果樹）	3	仲間入りしました	10
佐保川わいわい桜祭りレポ	4	ならやま投句箱	11
ならやま桜祭り・ならやま観察会レポ	5	行事案内	12
月例研修会（伊賀上野・花見）レポ	6	幹事会報告、行事予告、会員動向	13
本伏せ・本来の意味	7		

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず
あなたも私も・力合わせて

早や桜も散り、初夏の陽気を通り越して熱中症が話題に。いよいよ生き物の活動は活発に。里山一面が新緑に覆われ、駐車場もお花畑に。やっかいな草がはびこり始めるが、自然と共生していることを実感する季節がやってきた。

農作業は田植えに向けての準備を含め、今年こそ豊作をと畑の整備に余念がない。また草刈り隊も平城京休耕田を皮切りに本格稼働が始まる。さまざまな活動レベルが上がるにつれて、昨年度は事故が多かったことを反省して、一層の注意喚起が必要だ。

生命の息吹があふれる最高の季節を楽しみながら、無理のない活動を心がけよう。

咲き乱れるヒメオドリコソウとムラサキサギゴケ
（第１駐車場　４月 10 日）

５月の活動特記事項　活動日：1（木），8（木），15（木），22（木），29（木）

５月１日（木）：協働活動（アダプトプログラム）

５月８日（木）：平城京休耕田草刈り

５月の各グループ活動予定

グループ	活　動　予　定
里　山	里山林内整備、No.19 地区（経団連皆伐地）整備（下草刈り、間伐） チッパー処理（機関車広場）、薪棚更新、薪割り
エコファーム	水田の整備、夏野菜の定植、サツマイモ植え付け、ナス・トマト等の支柱立て 鹿害予防ネットの補修・整備、野菜の収穫
景　観	整備：梅林・BC 周辺・第３駐車場周辺の草刈り 平城京休耕田草刈り ビオ：西池排水口補修、池・水路の景観保全・整備、タナゴ生育状況定期調査 花：道路沿い、山野草園、駐車場周辺花壇の草引き
パトロール	1～3 コースパトロール、観察路整備、樹木銘板取付、保護植物周辺整理、 四季の丘周辺草刈り、水路の小橋架け替え
果　樹	鳥よけネット設置、カミキリムシ駆除、実りの森除草 山野草の収穫、果樹講習会

活動日：毎週木曜日９：00～15：00
前日の 17 時発表の気象庁予報（NHKTV（奈良）19 時前放送）の天気予報で、奈良県北部の午前中の降雨確率 60%以上の場合は翌日、翌日も同予報であれば中止

Monthly Repo.　ならやま

冨井 忠雄

３月 27 日（木）晴　65 名+近大生４名

３月 29 日のわいわい桜祭り、４月３日のならやま桜祭りと４月８日の例会の案内。参加者を募って椎茸の収穫。

里山Ｇは支障木の伐採、遊びの森の遊具設置準備、笹刈り。エコＧは農園の除草作業、里芋の掘起こし、春菊などの収穫。景観Ｇは竹林整備。花班はヒトツバタゴの移植など。ビオ班は近大生による田貝の定期調査、タナゴ池の環境調査など。パトロールＧは観察路３コースのパトロール、四季の丘の整備、観察会の打合せ。果樹Ｇはヒトツバタゴの移植、鹿除けフェンスの整備など。

４月３日（水）晴　84 名+小学生１

初めての企画として、ならやま桜祭りが開催された。新入会員 4 名が改めて紹介された後、

焼きそば、豚汁が提供され、女性によるコーラスやＦさんの詩吟、Ａさんのオカリナ、Ａさんの手話歌などで盛り上がった。午後はならやま観察会。パトロールＧが中心となって、桜の観賞を含めて２コース（ロング、ショート）に分かれて実施された。

里山Ｇは遊びの森の遊具の更新、No.24 区画の緑陰広場テント裏の笹刈り、薪棚解体撤去など。エコＧはレタスなどの収穫、ネギの植付けなど。景観Ｇは竹林整備、蜜蜂箱周辺の整備。花班は花壇の草引き。ビオ班は西池北側湿地の整備など。パトロールＧは保護植物の囲い杭作りとならやま観察会の案内。果樹Ｇは八朔の苗木の植込み、柑橘類の剪定など。

４月 10 日（木）　曇り　69 名

アダプトプログラムを行う。また里山Ｇが女性向け（5 名参加）の刈払機取り扱い安全講習会を実施。

わいわい桜祭り、ならやま桜祭りと自然観察会、例会伊賀上野森林公園の花見など、今年の桜を堪能したイベントのお礼。

里山Ｇは No.20 区画の里山林内整備、アカマツ林の片付け、薪割り。エコＧは分葱などの収穫、里芋の植付けの準備、ブロッコリーなどの移植と防獣ネット張りなど。景観Ｇは竹林整備、蜜蜂巣箱周辺整備。花班は第２駐車場横花壇の草引きなど。ビオ班は池の周りの整備、ハス池の葦の除去。パトロールＧは観察路２コースのパトロール、保護植物の囲い杭作りなど。果樹Ｇは柑橘類の枝の誘引、ショウガの植付け準備。スモモの木に被害があり、原因を調査中。

４月 17 日　（木）晴　25 度　70 名

夏日になり暑さがこたえるようだ！！

先週に続き、里山Ｇによる女性向け刈払機取り扱い安全講習会を実施。

里山Ｇは“遊びの森”の脇の榾木置場の片付け、薪棚の改良、安全講習会の実施。エコＧは里芋の植付け、ピーマンなどの種まき、じゃが芋の芽掻き、分葱などの収穫。景観Ｇは彩の森の草刈りとタケノコ収穫。花班は山野草の草引きなど。ビオ班は蓮池、湿地の草刈り、タナゴ池などの補修。パトロールＧは観察路３コースのパトロール、銘板作り、観察路整備、刈払機の講習など。果樹ＧはBC 周辺の柑橘類の剪定とゆずの移植、ショウガの植付け準備など。

パトロールグループ

ならやまの二大魅力

坪井　都子

私の入会は 2019 年 1 月 1 日、丸 6 年になりました。膝の半月板損傷により山登りができ難くなっていた私は、少しでも山に近づいていたいとパトロール班に入りました。ならやまの活動は本当に素晴らしいと改めて思います。

ならやまとその活動の二大魅力をお伝えします。その一つはならやまの自然です。春の訪れをレンギョウやオオイヌノフグリが伝えてくれ、種々の桜が咲き誇り、ツツジやいろいろな花も顔を出します。夏は野草たちと刈り取り競争になりますが、鳥や虫たちの囀りに耳を澄ます。秋にはクワ・ドングリの実がたわわになり、紅葉の美しい晩秋を迎え、キノコたちとの出会い、春を待つ小さな芽や葉痕・・・。

二つ目は、ならやまに集う人々の魅力です。朝早くから野菜や季節の食材を収穫してくれたり、耕運機で畑を耕してくれたりしています。みそ汁の材料を大量に買い込んで運んでくれます。20 ㎏もの重たい水を家から運んでくれます。月例研修会では会員が楽しんでくれるようにならやま以外での観察会も取り組んでくれます。地域の子どもたちのために米作り体験（田植え、稲刈り）や芋ほり等も実施します。学校に出張して校内の自然観察会もします。

どの活動もならやまという里山の楽しさ、素晴らしさを知ってもらうため、みんなで一致団結して純粋に熱心に取り組んでいるのです。

里山活動をするには、日頃からの自らの健康管理は言うに及ばず、家族の健康も視野に入れて活動は成り立っていることが分かります。

ならやまは入会以来、私の活力の源と言えます。

果樹グループ

果樹グループの一日

辻　敏美

果樹 G は一番奥で皆さんの見えない場所でいったい何をしているのか？　休憩ばかりしているのか？　いえいえちゃんと活動していますよ！

男性陣は草刈機や耕運機を使ったり、コンポスト作り（カブト虫の幼虫がたくさん育ちます）。牛糞や鶏糞の運搬、土壌改良等の仕事が多いです。

女性陣は鎌を持って草刈り、木以外（コンニャク、ウコン、コゴミ等）の植え付け作業、収穫（今はコゴミ、タラの芽）をして宿題のジャムやピール作り。これが大変！

そして皆んなでコンニャク作り、木の剪定等の活動しています。

皆さんが気になる休憩は 10:30 頃。和気あいあいとティータイム。提供用のジャムやピールがある時は、皆に味見をしてもらい「おいしい！」の一言でほっとしています。

今年に入り新たな試みで、梅の木を 2 人 1 組で割り当てられ、2 株を剪定しました。どの梅の木に実がたくさん出来るのか結果がたのしみであり「ドキドキ」です。

あとは皆さんに見てもらえなかったけど、今年はあんず（ピンク）すもも（白）の花がとってもきれいに咲きました。これも楽しみです。

これも去年の 2 月から、奈良県 OB で長年農業担当をされていた「新田さん」に果樹の木を見てもらい、剪定等の指導をしていただいたお陰かと感謝です。今も月 1 回指導に来ていただいています。今年は色々な果実が実り、提供出来るかもです。おたのしみに！

佐保川わいわい桜祭りレポ

福田　美伸

３月29日(土)、毎年恒例となっている「佐保川わいわい桜祭り 2025」が佐保川小学校の運動場で開催され、当会も12回目となる協賛参加をしました。

少し寒い日が続いたこともあり、桜は三分咲きでちょっと寂しかったですが、朝８時にはたくさんの地元のスタッフの皆さんがお揃いのピンクのパーカーを着て、準備に忙しくされ、私たちスタッフ13名も出店準備に取り掛かりました。出店団体は19団体、広い運動場もさまざまな催しでいっぱいになります。

午前10時にお祭りがスタート。提供するのは焼きそば、玉こんにゃくと自然工作(竹笛、数珠玉ブレスレット)。肌寒い日で来場者がどの程度来るのか、用意したものが余ってしまうのでないかと心配でしたが、11時頃からは好天となり、来場者も増え、売れ行きは好調。前日から準備を整え、リハーサルも積んだ甲斐がありました。

まず玉こんにゃくが昼頃に完売。焼きそばも材料を準備する人、焼く人、パックに詰める人などスムーズな連携で、鉄板２枚でフル稼働しながらも、焼き上がりを待つ長蛇の列が生まれるほどの人気。自然工作は興味津々の子供たちがお祭りの終了を過ぎてもテーブルを占拠していました。途中で材料不足で買い出しに行ったり、スタッフはなかなか昼食もままならない忙しさでしたが、たくさんの地域の方に喜んでいただき、会の活動資金にも大きく貢献できた達成感は、満足のいくものだったに違いありません。

工作に熱中する子供たちはなごり惜しそうでしたが、13時過ぎにお祭り終了。後片付けをした後は佐保川ほとりへ。ささやかながら和気あいあいとお酒を酌み交わし、スタッフ一同、心地よい疲れの中でお花見を楽しみました。

一つだけ、準備で確認不足があったのは、鉄板焼き台２台のうち１台が不調であることを見逃していたことでした。焼きそばの提供が遅れ、少し混乱につながりました。それでもスタッフのチームワークで乗り切れたことに感謝です。

スタッフの皆さん、大変お疲れさまでした。来年もまたよろしく！！

春のならやま観察会レポ

守口　京子

(桜山にて)

春のならやま観察会は、好天に恵まれ、いろいろの花の開花に間に合い、参加の皆さんのご協力により、無事行うことができました。

桜山ではカンヒザクラ、オオシマ、エドヒガン、マメザクラなどを観察しました。

(里山林のアオモジ)

続いてショートコースは、ならやま里山林内を、参加者10名でゆっくりと歩いて回りました。満開のアオモジ、鮮やかピンクのコバノミツバツツジなど、スタッフの説明を聞きながら、楽しむことができました。

ロングコースはならやま自然の森を、ひたすらてくてく歩きました。最後の登り（121Pなやま最高地点）で、疲れたみんなを圧巻のコバノミツバツツジの群落が迎えてくれ、思わず歓声が上がりました。予想外の大勢の参加(35名)で説明の声が聞き取れなかったことすみませんでした。(でもたいしたことしゃべっていませんから大丈夫です)

終了後、「よかったよ」「ありがとう」と感謝とねぎらいの言葉をいただきました。こちらこそありがとうございました。

(121Pにて)

ならやま桜祭りレポ

尾崎　信次

４月３日（木）桜祭りと新入会員紹介を兼ねた「ならやま桜祭り」を開催しました。

朝から豚汁用のかまどと半ドラム缶に鉄板を置き焼きそばの準備をしました。

10時頃から煮・焼きを始めましたが多人数分のため大わらわ、自転車道側に桜の絵を描いたピンク色の大幕を２枚張り、準備万端です。

11時ごろより千載会長の挨拶から始まり、参加した新入会員の岩月淳さん、よし川明美さん、矢野かつみさん、野原純子さんの紹介、挨拶と続きました。４人には今年初の筍もプレゼントされました。

続いて、焼きそばと豚汁の食事と桜関係のお菓子をいただきました。

その後音楽大会です。清原さんと戸田さん２人のコーラスで始まり、女性陣による合唱、古川さんによる詩吟、東さんのオカリナ演奏、青木幸子さんの手話歌と続き、全員立っての合唱、最後にならやまの歌を合唱して終わりました。

月例研修会
三重県上野森林公園･花見レポ
晴天・桜満開の花見研修会

飯島 八重子

お花見は何といってもお天気に恵まれ､桜がどの程度咲いているか？ の心配に尽きます。

今回の月例研修会は何といってもこの条件にはピッタリ当てはまるお花見日和でした。

４月８日当日の参加者 27 名。皆さん集合時間より早く集合され、バスは予定の９時前には出発。名阪道を通り一つ目の目的地、伊賀上野城へ、伊賀上野城へは 10 時 10 分到着。このお城は築城の名手､藤堂高虎が改修した城郭で、日本有数の高さを誇ります。今回はお城を含む上野公園一帯で自由見学という予定です。参加者はそれぞれ興味のある天守閣方面や、松尾芭蕉記念館、はたまた忍者博物館へと見学に。植物に興味のある方は園道の樹々を見ながら、ワイワイガヤガヤ。城郭では「日本一・二の高石垣」と詠われている堀を覗き込み､「ひゃ～！怖い～！ 」の声。また伊賀上野出の松尾芭蕉生誕 300 年を記念して、芭蕉の旅姿を建築に表した俳聖殿などを見学｡「誰か一句読んでえな～」との声｡上野公園一帯は桜が満開！ 陽光を浴びながらの散策は、身も心も日差しでいっぱいになりました。

いよいよ本日のメイン場所。三重県上野森林公園に向けて出発｡12 時には森林公園に到着。お花見に最適な「ひだまりの丘」では早速ブルーシートを広げて宴会開始。皆さん自前の弁当を広げ、そしてビールに日本酒、ワインにノンアルコール飲料。沢山なおつまみを広げ「乾杯！ 」。参加者の笑顔は満開。ひだまりの丘周辺も桜満開！「ならやま月例研修会バンザーイ！ 」でした。13 時からは希望者９人で園内を散策しました。ここはサギソウ群生地で有名です。あいにく８月頃にしか咲きませんが、上野森林公園は四季折々の珍しい花も咲きます。興味のある方は行ってみてください。

お花見宴会もそろそろ終了タイム。14 時 10 分にバスは観菩提寺へ。此処は奈良東大寺二月堂のお水取り（修二会）に先駆けて修二会が執り行われる事で知られ、本尊の十一面観音菩薩は三十三年目に一回しか御開帳されない秘仏です。最近では 2015 年の御開帳でしたが次回は 2048 年です。御開帳の参拝希望の方はぜひぜひ長生きして拝んでください。

いよいよ終盤「みなみやましろ村 道の駅」でのお買い物と休憩タイムです。お茶関係の商品が多く、人気の抹茶ソフトにほっこりする人、お土産を購入する人それぞれです。日本一の道の駅（と表示）を後に 15 時 45 分には一路奈良に出発。車中、増田さん提供のクイズで、正解者同志のじゃんけん大会｡正解者には固焼き１枚(ごめんなさい)で結構盛り上がり居眠りする時間も無く、予定より早く近鉄奈良駅前に到着。恵まれたお花見日和での月例研修会は無事終了しました。次回の月例研修会のご参加もお待ち申し上げております。

「本伏せ」の本来の意味

清原　正彦

突然ですが、『ガムテープ』と聞いて、あなたは何を想像しますか。「ああ、あの段ボールを組み立てるときに使用する裏にベタベタする糊がついた紙製のテープね」と思った方はブッブー。

それの正式名は「クラフト粘着テープ」と言います。

「ガムテープ」というのは、切手と同じように乾燥した糊がテープの裏に塗り付けられており、使用時は裏面の糊部分を湿らせて段ボールなどの組み立てに使用します。違いは、「クラフト粘着テープ」は時間の経過とともにクラフト部分に糊が沁みだし、ベタベタする（いわゆる油分が湧く）状態になるのに対し、「ガムテープ」はいつまでも最初の状態が保てるところにあります。

近年ではガムテープを見かけることはほとんどなくなりましたし、日常生活でクラフト粘着テープをガムテープと表現しても大した影響はないのが現状のようです。

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
駒打ち				本伏せ																			
	仮伏せ																		ホダ起		収穫		

実はこれと同様に、椎茸栽培で使用される「本伏せ」も、本来の意味と違う使われ方をされる場合があります。具体的には、当会が毎年6月に皆様に協力いただいて行うホダ木の「本伏せ」は、「ホダ起こし」と呼ぶのが妥当です。

椎茸栽培は、上のカレンダー表のごとく約1年半キノコが実らない本伏せの時期が必要で、経済的観点からすると、収穫の見込めないものに広い面積を占拠される非効率状態となります。なので、本伏せの期間中はなるべく広い土地を使わずに菌糸を原木の隅々まで広げる工夫が必要となります。（空いた土地には、収穫間近のホダ木を並べればより収益が上がります）

そのため、本伏せは、下図のように鳥居伏せ、ムカデ伏せ、ヨロイ伏せといった方式で密集してなるべく狭い土地に積み込みます。

そして、「ホダ起こし」というのは、収穫間近になった椎茸が採取しやすいようにホダ木を稲架掛けのように左右から1列に立てかける作業のことをいいます。

ただ、ボランティア団体が実施する椎茸栽培は、せいぜい100本程度の原木を扱うだけですから、最初から「本伏せ」を省略して「ホダ起こし」をしていても何の支障もありませんし、またその作業を「本伏せ」と称しても（元来の意味とは異なるが）大きな間違いでもないでしょう。とは言え、椎茸栽培に詳しい方からすると「これが本伏せ？」となりかねません。また、椎茸イベントも開催している以上は、専門的な知識として本来の正しい呼び方「ホダ起こし」と称するのがよいでしょうね。

旅の記憶　全国ぶらり旅 ①

２０２４年７月栃木県　**前田 隆裕**

日本最古の学校「足利学校」

足尾銅山　約400年にわたり掘り開いた坑道の長さは1,234キロメートル（およそ東京から博多間）

栃木市の蔵の街　　代官屋敷

宇都宮　石の郷　と　大谷寺（おおやじ）　平和観音高さ 27ｍ　採掘場地下

きょうみ　森森

このコーナーは、会員の紹介をいたします。
仲間の新たな魅力をお伝えするものです。
今回は、山上 伸子 さん（2020 年入会）

好きな音楽は、サザンオールスターズの曲です。まさかこの歳になるまで聴いているとは思わなかったです。
お気に入りの曲は、2020 東京オリンピックのテーマ曲になった「東京 VICTORY」です。

思い出に残る映画は、「ウエストサイドストーリー」です。映画館で立ち見しました。異文化に触れた高校生の私。

タイムマシンに乗れるとしたら、高校生の頃。あのときが私の人生の岐路だったと思います。

爺ヶ岳南峰　頂上

感謝していることは、つつがなく暮らせてきたこと…「日々是好日」です。

愛読書は、高村薫の小説です。一番好きな作品は、「マークスの山」です。

好きなスポーツは、アメリカンフットボールです。あの肉弾戦が面白いです。

「幸せだなあ」と思う瞬間は、山から下りて飲む１杯のビールです。

すずらんの花言葉
「謙虚」
「幸せが巡ってくる」

このさわやかな笑顔をご覧ください。山上伸子さんが北アルプスの剱岳に登頂なさったときのスナップです。
今後の目標も、「何歳になってもそれなりに山登りを続けること」だそうです。
山上伸子さんは、茶目っ気と真面目さのバランスが絶妙。
会報誌「ネイチャーなら」での記事の文体は、茶目っ気を発揮し、行事を楽しく報告。
またパトロールグループでは、ときにリーダー代行として、真面目さを発揮しておられます。

人生最期に食べたいものは…食べ物ではないけれど「ビール！」末期の水はビールにして欲しいです。

好きな花は、「すずらん」です。小さい頃、すずらんでままごと遊びをしていたのです。

表銀座縦走路から見た　槍ヶ岳遠望

仲間入りしました

岩月　淳

京都府相楽郡精華町　在住です。

自宅で使用している薪ストーブの薪の値段が年々高騰し、なんとか自分の手でも調達できないものかと、昨年末より模索を始めました。その中で、公園で枯れ木を伐採されている植木屋さんや、工務店さんにお声がけをしたり、さまざまなルートを探して歩くうちに「奈良・人と自然の会」の存在を知ることとなりました。

当初は、あくまでも薪の調達が目的だったのですが、活動を見学させていただく中で、皆さまが自然の中でいきいきと作業をされている姿に心を動かされました。ちょうど私自身も還暦を迎え、これを機に、自然の中で体を動かす生活を始めてみたいという思いが芽生え、気がつけば入会させていただいておりました。

ゴルフ部もあるとお聞きし、今後はそうした活動にも少しずつ参加しながら、会の皆さまとのご縁を深めてまいりたいと考えております。どうぞ今後とも、よろしくお願い申し上げます。

矢野　かつみ

大阪府貝塚市からの参加です。

夫が、ある日、柑橘類のジャムを持って帰りました。その味のまろやかで美味しかったこと！　それから活動から帰る度に何かを買ってきてくれるのですが、中でもシイタケはシャキシャキとした歯ごたえですし、お野菜も旬のため甘いです。それに安価なのも有難いです。

先日の４月３日、夫に誘われて初めて参加しました。私は果樹グループに入らせていただきました。

当日は、さくら祭りがあり、バウンドケーキをご馳走になりました。その美味しかったこと！　また「橘の実も小さいけど美味しいとか、こごみも美味しい山菜とか」といろいろと教えていただきました。ベースキャンプの大きな桜も満開で私を迎えてくれ、鶯の声も近くで聞こえ、素晴らしい里山の風景でした。近ければ毎日でもお邪魔したいところですが、遠方のため、月に２回程度の参加を目指して頑張ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

よし川　明美

初めまして、森和子の娘です。ジャム納品が重く大変そうで荷物持ち同伴がきっかけで参加させていただきました。大阪市内から離れて自然に触れ小鳥の囀りが聴けるのが嬉しいですね。

牛糞着いた～懐かしい匂い～父の実家で乳牛や畑をしてました。鶏小屋には 60 羽位いました。椎茸も南方帰りの爺ちゃんが作ってました。採取できるまでに３年もかかるんですね！

「よし川」は縁起担ぎ＆覚えていただきやすいので活用している通称名です。（姓名判断）

調停離婚から 12 年、男児二人就職しそれぞれ一人暮らしを始めました。ようやく親子穏やかな生活になりました。

眩しい太陽光に弱いので３シーズンサングラスが離せません^^; 怪しい人じゃないですよ！

今のマイブームは吉野敏明先生の四毒抜き生活です。母と「ゆる～く」楽しんでます。皆さまも健康・長寿に如何でしょう？

新ならやま投句箱

俳句

草芽吹くそばに兎が落とし物　菊川　年明
花びらに一句読みたし俳聖殿　千載　輝重
賑わいはならやまの里花のした　阿部　和生
絶壁の屏風岩背に山桜　藤原　勲
子の一家桜とともに京を去る　八木　順一
ならやまや映えるシンボル榎かな　國方　まり子
咲く花へ静かに雨の散華かな　山本　美智子
相逢うてやがて別れて花筏　古川　祐司
山波の色替え染める若葉かな　羽尻　嵩
平城山の桜ふぶきに酔ひ知れぬ　坪井　都子

短歌

藤波に隠れてナラノヤエザクラ
　過行く春に楚々と微笑む　千載　輝重
水浴びのヒヨドリの為水換える
　鉢のアサザどこに流れた　戸田　博子
みずうみや船より鑑賞花まんかい
　笑顔行き交うほろ酔いの席　阿部　和生

新ならやま投句箱への投句　ありがとうございます　今後ともよろしくお願いいたします

ホトトギス喜び唄うならの山
　シニア集まり楽しく笑い　森　和子
のどけしや早くもがなと空仰ぐ
　そよぐ息吹よ春来にけらし　谷川　雅邦
新緑が我が双眸に飛び込んで
　生きる力を与えてくれた　内河　洋文
ならやまの桜祭りの幕を背に
　余韻漂い風と喜ぶ　清原　加代子
花過ぎて緑膨らみ山笑ふ
　老いて益々季（とき）を惜しまん　山本　美智子
古の奈良の都の一隅で
　脈々続く饅頭祭り　豊田　治代

川柳

桜見ずビール片手に爺々（時事）談議　郁ちゃん
昭和世代宴の果ては「青い山脈」　フランカー
トランプを切られ世界も大慌て　順ちゃん
ならやまに野草にっこりパラダイス　草引き名人
花冷えに熱燗恋しウフフフフ　人恋し
しばらくは万博トランプ泣き笑い　トラ吉
行く春やいきなり夏日弥生かな　のぶ

次号締め切り　六月二十日　投稿先　田中善英　and5117@nifty.com

行事案内

５月　自然教室のご案内

ヒトモトススキ

大阪側の生駒山麓を歩く

皆さまおなじみの田代貢先生と一緒に歩く自然観察会のご案内です。

枚岡駅から山裾を歩きます。登りはほとんどありません。

椋ヶ根橋～公園事務所（昼食）額田駅～線路沿いを歩き～爪切り地蔵、旧生駒トンネル～日下新地、健康道場跡～石切駅（コースは変更することもあります）

前半は動植物主体、後半は、歴史・地学的な地域自然史、鉄道関係の話、と多彩です。

皆さまこぞってご参加ください。
お友達の参加も歓迎です。

実施要領

（１）　日時：５月 19 日（月）10 時～15 時
（２）　集合場所：近鉄枚岡駅枚岡神社鳥居下
　　集合時間：10 時
（３）　持ち物：弁当、お茶、筆記用具、図鑑、
　　ルーペ（ルーペのない人は虫眼鏡でも可）
（４）　解散場所：石切駅
　　解散時間：１５時頃
（５）　その他：申し込みは不要です。
（６）　実施の有無は当会の申し合わせ通り
　　（予備日は設けておりません）

担当：山本・桜木

６月　月例研修会のご案内

伏見の十石舟と酒蔵めぐり

京都伏見の酒蔵見学（利き酒あり）と十石舟に乗船し江戸時代の風景を楽しむ企画です。

御香宮神社や、坂本龍馬の定宿で知られる寺田屋、各所に湧き出る名水と、月桂冠大倉記念館、キザクラカッパカントリーなどの酒蔵めぐり、新緑の歴史ある十石舟の船旅を楽しみましょう！

御香宮神社は通称「ごこんさん」として旧伏見一帯の氏神として信仰を集めています。御祭神は神功皇后で、安産・子育ての神として篤く崇敬されています。御香水は名水百選の一つ。

記

1, 日　時：6 月 10 日（火）雨天実施
2, 集　合：近鉄桃山御陵前改札前　9 時 30 分
3, 持　物：雨具、飲物、敷物
4, 会　費：3500 円（十石舟、昼食、酒蔵）
5, 申込先：冨井忠雄
　◆十石舟の定員が20名ですので、今回の募集は先着 20 名とさせていただきます。
6, 行程：桃山御陵前 9 時 30 分―御香宮神社―十石舟のりば 11 時 20 分（45 分）―昼食（櫻）―大倉記念館―キザクラカッパカントリー―長建寺―寺田屋―鳥せい本店（伏見神聖酒蔵）―桃山御陵前駅解散 15 時頃　約7km

2025年４月度 幹事会報告

開催日：３月 25 日

Ⅰ.会計・総務より
・会員動向：会員数 128 名（家族会員 13 名）
・会計：収支報告

Ⅱ.活動・行事に関する議題・懸案・確認
1．３ヶ月活動スケジュール検討・確認
・４月の佐保川小学校学習支援は新学期になってから先方と打ち合わせ予定
・佐保台小学校の田植えは６月５日を予定
・佐保川ワイワイ桜祭り（3/29）の参加内容（焼きそば、玉コン、工作）
・ならやま桜祭り（4/3）は 11 時開始、新人紹介、焼きそば等の提供、自然観察会実施
2．2025 年度イベント計画
・里山で遊ぼう（7/12）の内容（実施費用、飯盒炊爨/カレーの実施要領を検討）
・朝日親と子の自然環境教室は 10/12（予備日 13 日）
・佐保台小学校の稲刈り 10/9、脱穀 10/23
・シイタケイベント 2026/2/21（予備 22 日）

Ⅲ.助成金関係
・進捗状況、申請状況を確認

Ⅳ.特定議題
・2024 年度収支報告書、2025 年度予算案作成済
・総会資料の原案作成、確認依頼中、変更、訂正があれば、４月 15 日までに連絡要

Ⅴ.広報関係
・会報誌の編成、執筆者の確認

Ⅵ.報告・連絡事項、その他
1．4/8 月例研修会　伊賀上野
　参加者 28 名
2．5/19 自然教室　枚岡／石切方面、
　田代先生を迎えて実施

以上

次回幹事会は 4/26（土）中部公民館 14:00

著明な“京の桜守”の方の言葉、「桜を見るならば、自分の好きな木を１本だけ、決めてみたらどうだろう…、その１本を花の咲く春ばかりでなく、夏の桜、秋の桜、冬の桜と一年を通し見てほしい…」桜は、春に花が散った後、青々とした若葉が幹を覆う。夏の暑さに耐え、秋になると、黄色に、えんじにと葉が色づき、日が短くなるころはらはらと落ちる。その時にはもう、花芽が生まれている。雨風や雪にも負けぬよう、堅い葉で守られた小さな芽、寒さが厳しくなれば成長を止めて「休む」。やがて春の気配を知り、蕾が気張って膨らんでくる。その様子を「笑いかけ」と言うそうだ。

４月号奈良学クイズの解答

１《問１》　(有)原　→　(在)原
北(西)　→　北(東)　　金(峰)　→　金(龍)
法(起)　→　法(輪)　（７）４７　→　（８）４７
《問２》（花）
２（１）聖林寺

****

６月ならやま活動&行事予告

＊ならやま活動　6/5　協働活動日
　　6/5　佐保台小田植え
　　6/26　感謝祭
＊月例研修会　6/10 伏見酒蔵・十石船巡り

会員動向（敬称略）
<入会者> 3/27　越智 健介
　　4/3　野原 純子
　　4/10　酒井 為治
<退会者> 3/25　和田 陽子

発行：奈良・人と自然の会
URL ： http://www.naranature.com
編集代表 Mail: editor@naranature.com
編集委員：青木（幸）・尾崎・柴田・千載・田中（善）・戸田

表紙写真：シイタケの収穫作業に参加しました（たくさん採れて大満足です）。